

近思錄示蒙句解

伍

□ 13  
1907  
6



〇七〇  
1907  
6

近思錄示蒙句解卷之五 凡四十一條

克己類 前篇ノ致知ノ說ニテ學ヲスルノ端ヲ明メ存養ノ說ニテ學ヲスルノ本ヲ立ツ而ノ身ヲ脩メ行ニ施スニハ又己ガ私欲ヲ克チ去クヲ以テ要トスコノ故ニ此篇ヲコニカケテガメ行フノ首トスルナリ

濂溪先生曰君子乾乾不息於誠 天ノ道至誠ナリ故ニフノ運

然必懲忿窒欲遷善改過而後至

行化育シバラクモヤムナレコノ故ニ君子コレニ則トリ終日乾々トツトメテ其心ノ眞實无妄ナル所ニホレバラクモヤマス君子ノ學コレフノ工夫ヲ用ル所以ノ体ナリ  
コレ易ノ損益兩卦ノ象辭ヲ合セ引クワレ人ノ七情忿ト欲トヲ克チガタクトス忿怒ノ狀ハ夕チアガルニヨリテコレヲ艾リ懲ス愛欲ノ狀ハオチクホムニヨリテコレヲ埋メ窒グ善ヲ見テハ則コレニウツリシタガヒ過アレバ則スミヤカニコレヲ改メ乾々ノ統體アル上ニ又必方クノ如クニ工夫ヲ

近思錄示蒙句解卷之五

用ヒテ。然ノ後ニ。ヨク純上ノ誠ニ。至ルヲ得ルナリ。

**乾之用其善是**

君子乾道ニ倣スル

所ヲ以テヨシトス。朱子ノ説ニ。此句ヲモ莫善是ニ作ルベシト。

**損益之大莫是過**

人ニライテ

宜ク損益スベキナリニヨリテ。損卦ノ象ニコレヲ云。遷善改過。人ニライテ。増益ヲ得ルナリニヨリテ。益卦ノ象ニコレヲ云。而ノ損益ノ大イナル。此兩端ニスギ

**聖人之旨深哉**

上ヲスベクハリテ。コレヲ喫美タルハナシ。聖人人ニ示スノ旨深シト。

**吉凶悔吝生乎動**

コレ易繫ノ詞ナリ。吉ハ道理ヲ得テ福アリ。凶ハ道理ヲ失ヒテ禍アリ。悔ハアヤマチテ

後自悔口トガムル。吝ハ己ニ私意利心アリテ。吝ツベキ。此四ツハ皆人ノ動作ノ上ヨリ生ス。

**噫吉一而已動**

**可不慎乎**

凡ソ人ノ動作吉ニノヨキハ。只一ツニテ。凶悔吝ハ。ミナ慎ミ。必怠ヲコロシ。欲ヲフサギ。善ニウツリ。過ヲ改ムベシ。コノ故ニ。再嗟嘆ノ。此事ライヘリ。

**濂溪先生曰**

コレハ周子張宗範ガタメニ作レル。養心亭ノ説ナリ。

**孟子曰養心**

**莫善於寡欲**

人心ノ本体。天理全クナハレリトイヘ。耳目口鼻ノ欲。ホシイマ、ニスルヲ以テ。コレヲ害ス。コノ故ニ。心ノ徳ヲ養フノ道。形氣ノ欲ヲ寡クメ。

其節ニスグサバルヨリモ。ヨキナシ。

**予謂養心不止**

**於寡而存耳**

蓋寡焉以至於無。コレ周子又孟子ノ

サレ所ヲ發明ノイヘリ。蓋シ形氣ノ欲ハ。タレモアルナリトイヘ。其節ニスグレバ。則亦私欲ナリ。コノ故ニ。又私欲ヲ以テ論ラタテ。云ク。凡ソ私欲ニカ、レシ。心ヲ養フニライテハ。只コレヲ寡クメ。其餘ヲ存スルノミナラス。

寡クメ又コレヲ寡クシ。必タエテナキニ至ルベシトナリ。然レモ孟子ノ寡欲ニヨリテ。後ニ周子ノ

**無則誠立明通**

私欲ナキ時ハ。實理ノ体立チ定リテ。堅固ナリ。實

理ステニ立ツ時ハ。則ツノ用流行ノ。フサカ

**誠立賢也明通聖**

也。誠立つ時ハ。ステニコシ賢人ナリ。夫子ノ三十而立ツト云カ如シ。明  
通ズル時ハ。即コレ聖人ナリ。夫子ノ天命ヲ知り。身順フト云カ如シ。

伊川先生曰。顔淵問克己復禮之目。此章ハ程子視聽言

動ノ四箴ニノコレヨリ下ハ。ソノ序文ナリ。克己復禮トハ。顔子仁ヲ問フ。未  
子ノ答ヘ玉フ詞ナリ。己トハ。己ガ形氣ノ私欲ヲ云コレニ克ツトハ。ハラヒツ  
クシテ。ノコサバル義ナリ。礼ハ。天理ノ節文ナリ。コレニ復ルトハ。心ニツナハ  
シ。天理私欲ニサマタゲラシタルヲ。ソノ私欲ニ克チ得ル時ハ。則天理ニタ  
チカヘリテ。凡ソ心ニ思ヒ身ニナスワザ。皆ソノ當然ノ則コカナヒテ。心ノ天  
理常ニ全シ。即コレ仁ナリ。顔子ステニ其旨ヲ了ラ。理欲ノワケモ亦明ニ知シ  
ルヲ以テ。只ソノ工夫ニ  
手ヲ下ス條目ヲトハリ。夫子曰。非禮勿視。非禮勿聽。  
非禮勿言。非禮勿動。礼ハ。即復禮ノ礼ナリ。非礼ハ。礼ノウラ  
ニノ私欲ナレバ。即克己ノ己ノ字ナリ。  
勿レトハ。自イミシメ止ムル詞。即人心コレヲ主宰トシ。己ニ克テ礼ニ復ルノ  
機括ナリ。非礼勿視勿聽トハ。非礼ニノ視聽クフヲ禁止スルナリ。非

ヲ視聽クフナカレト云ニアラス。蓋シ滯聲美色ハ。モト我ニアツカラス。只  
ガコレヲミキカマホシキ意出来ルハ。即非礼ナル故ニ。コレヲ禁止ス。聲色ノ  
有無ニカハ。ハラヌナリ。言フフナカレ。動クフナカレト云モ。非礼ノ言動ヲ禁  
止スルナリ。動クトハ。心ノ動キ。身ノ動クヲ兼テ云。通ノ云時ハ。視聽言モ。亦  
ミナ身ノ動クナリ。凡ソ人ノ私欲品多シトイヘ。ミナ此四ツニ  
ヨリテ行ハル。故ニコレヲ以テ。工夫ノ條目ヲ立玉フナルベシ。四者

身之用也。由乎中而應乎外。制於外所以

養其中也。凡ソ人身ノ作用。キハマリナレトイヘ。ツバムレバ。此四  
フニハツレズ。コレ皆中心ヨリ。外ノ感ズルニ應メ出ツ。外  
ニアラハル。所公即心ノワク。所ナリ。コノ故ニ。外ヨリ視聽言動ニツイテ  
非礼ニカテバ。則本然ノ礼ニカ  
ヘル。二段ノ工夫アルニアラス。

顏淵事斯語所以進於

聖人。コレ顔子夫子ノ四勿ノ答ヘラキ。テ。回不敏ナリトイヘ。請フ斯  
語ヲ事トセント。ウケモチタルニヨリテイヘリ。事トストハ。其事ニ

後之學聖人  
後之學聖人  
後之學聖人

者宜服膺而勿失也  
因箴以自警

勿ノ工夫ヲ常ニ心腎ノ間ニサ、ゲモチテ忘失スルヲナカルベキ  
フコレニヨリテ四ツノ目ニ各箴ノ詞ツクリテ自サトシムトナリ

曰心兮本虛應物無迹操之有要視為之

則心ノ体ハナシクノ物ニ應スルノ用アトナキガ故ニコレヲ操ル時ハ則  
ナレトフノ操リ守ルニ簡要トスル所アリ即目ノ視ル所コレナリコレヲ以

テ心ノ存亡ヲハカリミル準則トモコ、ニツイテ心ヲ操リ守ル術ヲ會得ス  
ベシト

蔽交於前其中則遷  
蔽ハオホフナリ物欲ヲサス

所ヲオホヒフサグ者ナレハナリツレ物欲前ニ来テワレニマシハル時ハコ  
レヲ見テ中心則ウツリツクツノ相應スルヲ最スミヤカナリコノ故ニコ

ニツイテ非礼ヲイマシルヲ以  
テ心ヲ操ルノ要トスルナリ

制之於外以安其内克  
人ヨク物欲ヲ外ニ制禁ノコレヲ以テ心体

己復禮久而誠矣  
ラ内ニ安養シカクノ如クニ克復ノ切ツム

一久キノ後ニハ心ノ体用天然ノ實理ト一ツニナリアヒテ工夫ヲ  
シサテワトメザレト身心ノ兼動ヲノゾカラ礼節ニカナフナリ

聽箴  
聽箴

曰人有秉彜本乎天性  
秉彜トハ秉ハトルゾモツ義ナリ

知誘物化遂亡其正  
天性モト正キ故ニ善惡ヲ知ルヲ明ナ

レバ心ノ知識コレニヒキトラレテ物欲ト共ニ化ノ一ツニナリアヒツヒニ  
本性ノ正キ所ヲ失フナリ蓋シ目ノ見ルハ陽ニ屬スル故ニ心ノイテ、動ク

一見ルヨリスミヤカナルハナシ耳ノ聞クハ陰ニ屬スル故ニ心ニ入りテオ  
ホユルヲ聞ヨリフカキハナシコノ故ニ見ルニハ遷ルトイヒ聞ニハ知ルト云

見ルニハ心ヲイヒ聞クニ性ヲ云。性ノ理心ノ本ナドナリ。又凡ク書籍ハ詞ヲノスル者ナルガ故ニ。卓  
コレヲ讀モ亦聞クノ類ナリ。ヨリテ非礼ノ書ヲ戒メテヨムベカラズ。

**彼先覺知止有定閑邪存誠非禮勿聽** 卓彼  
トハ卓ハヒトリ立ツ克先覺トハ我ヨリ先ニ道ヲ覺レル人。コレ泛ク古ノ賢

者ヲサス。知止有定トハ太學ノ文ニ出ヅ止ルハ至善ノアル處。即凡ク事ヲ處  
置スルニ。コハニ止リテ他ニウツルマシキ所ナリ。邪ハ即聞クノ非礼ヲサ

ス。誠ハ即天性ノ實理ナリ。彼先覺ノ人。凡ク事物ニライテ。ミナソノ止ルヘキ  
所ヲ知テ。其志定リ向フ所アリ。コレ物ニヒカシテ化スルノ知ニアラス。コノ

故ニヨク邪妄ノヲ外ニフセギテ。誠實ノ理ヲ内ニ存シ。非礼ヲ堅ク禁止セ  
ザレト。ラノツカラコ

シヲ聞キ入ルナシ。 **言箴曰人心之動因言以宣**  
人心動干テ思フアレハ。則詞ニヨリテコレヲ

イヒノズ。言ヲ心ノ聲ナリト云ハ。コノ故ナリ。 **發禁躁妄內斯**  
静專

静專  
静ハ心ノ非礼ナルゾ。静ハレヅカ。專ハモツハラナリ。蓋シ心ウゴク時

ハ。詞ニヨリテイヒノベ。心又詞ニヨリテ展轉ス。然レバコノ詞。即コレ心ナリ。

コノ故ニ。詞ヲ裁スルニ。ソノ躁キヲ禁止スレバ。内心即安靜ナリ。ソノ妄ナ  
ルヲ禁止スレバ。内心即專一ナリ。亦ミ

ナ外ニ制メ。以テ内ヲ安ニスルノ義ナリ。 **矧是樞機興戎出**  
好

好  
好ハ興戎ト云ニヨリテイヘリ。樞ハ戸ノクルノ機ハ。弩ノカラクリ皆裁

動ノ由ル所ニ。借リテ云ナリ。戎ハ兵具ヲサスソレ詞ハ心ノ躁妄靜專ニアツ  
カル所ナルニ。況ヤ又此身ノ禍福ノカ、リタル樞機ニ。我人ノ間ニ。兵戎ヲ

モイヒオコシ和厚ヲモイヒ出シ。モロノノ吉事凶事。榮ヘトナリ。辱メトナ  
ルヲハ。皆コレ其詞ノマ

子キトル所ナルヲヤト。 **傷易則誕傷煩則支已肆物**  
忤出悖來違

忤出悖來違  
此段ハ又詞ノ病四ツラアグルナリ。タヤスノカロク  
アラサルニ至ル。コレ即サキニ云妄ナリ。イタツガハシク。多キ病ニ。ヤブラル  
ル時ハ。則支ワカレテ。本ヲワスル。ニ至ル。己ガ云フホシイマ、ナレバ。人ノ

心ニサカフ。コナタヨリ出ス詞。理ニフムケバ。カナタヨリ来ル詞モ。亦理ニヌ  
ガフ。コレニヨリテ。兵戎ヲオコシ。凶害ヲ一ニ子キ。取辱ヲトルニモ及ブナリ。

**非法不道欽哉訓辭**。上ノ句ハ。孝經ニ。非先主法言不取言ト  
云ラトリテ。非礼勿言ト云フ。イヒカ

ヘタル者ナリ。別ノ義ナシ。下ノ句ハ。コノ  
訓戒ノ詞ヲツ、シテ守ルベシトナリ。

**動箴曰哲人知幾**

ヘタル者ナリ。別ノ義ナシ。下ノ句ハ。コノ  
訓戒ノ詞ヲツ、シテ守ルベシトナリ。

**誠之於思**。哲人トハ。哲ハアキラカナリ。心ノ明哲ナル人ヲ云。幾ハ

ナリ。哲人コノ幾ヲ知ル者ハ。思慮ハジメテキザス時ニ。

フノ思ヒラ善ニオモムケテ。善ヲ思フニ誠アルナリ。

**守之於為**。志士トハ。志ヲ立ル學士ナリ。為ルトハ。シワガラ云。コレ身

ニナスワザニ。其義ヲト

リ守リテ。コレヲ失ハズ。

**順理則裕從欲惟危**。ソレ動ニハ。念慮

トイヘ。皆天理公ナル。順フ時ハ。自省ミテ。ヤミキナシ。コト故。身心共ニ裕ナリ。モシ人欲ノ私ナル

方ニシク時ハ。物ゴト一サル。多クゴト故。身心共ニ危シ。凡ノ事理三順ヒテ。欲ヲ禁ル時ハ。義ノ安ニスル

所而利アリ。只利ニワシリテ。害ヲサクルノミナレバ。其利ニヨリテ。即害アリ

コレ必然ノ道理ナリ。コノ故ニ。理ニ順フ。ハ。シバラク難キニ似タレ。凡ツイ

ニ順境ニ出ツ。欲ニ從フ。ハ。シバラク

易キニ似タレ。凡ツイニ。逆境ニ入ル。

**造次克念戰兢自持**

造次トハ。ニハカナル時ト。カリソメナル時ト云。戰兢ハ。ラソレツ、シム義

ナリ。云意ハ。理欲ノオモムキ。上文ニ云。如クナレバ。人必造次ノ時ニ。三ヨクオホエ念ヒ



復之初九曰不遠復元祗悔元吉傳曰陽

君子之道故復為反善之義陰陽の善惡ノ象ナル故ニ陽ヲ君子ノ道トシ陰

者也是不遠而復也初九ハ一陽五陰ノ下ニハシメテ反ルヲ以テ道ニヨリイマダ遠カラス

失而後有復不失則何復之有唯初九ハ一陽五陰ノ下ニハシメテ反ルヲ以テ道ニヨリイマダ遠カラス

失之不遠而復則不至於悔大善而吉也初九ハ一陽五陰ノ下ニハシメテ反ルヲ以テ道ニヨリイマダ遠カラス

顏子無形顯之過此ヨリ下ハ易繫ニ顏子

夫子謂其庶幾乃無祗悔也此ヨリ下ハ易繫ニ顏子

不勉而中所欲不踰矩是有過也此ヨリ下ハ易繫ニ顏子

然其明而剛此ヨリ下ハ易繫ニ顏子

故一有不善未嘗不知既知未嘗不遷改此ヨリ下ハ易繫ニ顏子

近思錄河間卷五

七



故不至於悔乃不遠復也 顔子イニダ聖人ノ自然ニ及バストイヘド其徳明審ニノ

剛勇ナリ。明ナルヲ以テ。ワツカニ過アレハ必コレヲ知ル。剛ナルヲ以テステニ過ヲ知レバ。則スミヤカニコレヲ改ム。コノ故ニ悔アルニ至ラス。即コレ遠カラズノ復ルナリ。 學問之道無他也唯其知不善則速

改以從善而已 無他トハ別ノナレト云詞ナリ。

晉之上九晉其角維用伐邑厲吉无咎貞

吝傳曰人之自治剛極則守道愈固進極

則遷善愈速 コレマツ晋角伐邑ノ義ヲ釋ス。晋ハ進ナリ。ス、ム義ナリ。上九ハ陽爻ニノ。一卦ノ上ニアリ角ハ剛キ者ニ

ノ。首ニアルヲ以テ。其ス、ム一角ニアルノ象トス。邑ハワカ領地ノ里ヲサス。コレヲ伐ツニ用フトハ。ワカ領下ニ惡徒アルヲウチタイラグル一ニ用ルゾ。

傳ニハコレ自ワカ身ノ過惡ヲ克ク治ルノ義ニトリテ云。蓋シ此女剛キ一在

如<sup>キ</sup>上九者以<sup>テ</sup>之自治則<sup>チ</sup>雖傷於厲而吉且

無咎也 剛クメ進ム一ノ極レルハ。厲キニスキタル。ヤブレアレド。嚴

厲非安和之道而於自治則有功也 コレ亦上

明<sup>ス</sup>嚴<sup>ク</sup>厲<sup>キ</sup>ハ安 裕和厚ノ道ニアラス。 雖自治有功然非中和之德

故於貞正之道為可吝也 貞正ハ。ミナタバシキ義ナリ。嚴厲ニスキタル者ハ。自治ルニ

功アレド。畢竟中和ノ徳ニアラザルヲ以テ正ク常ナル道ニライテハ吝ヅベキ所アルナリ。コレ貞ニハ吝シノ義ヲ釋ス。吝シトハ。ヤブサカナルゾ。ヨリテハ

ツカレキ意ニトル



五陽ノボリス、シテ。陰ヲ決キ去ルノ象アリヨリ。夫ト名、蓋陸公馬齒、齒ナリ。中行ハ、中道ナリ。九五剛陽中正ニノ。君ノ位ニ居リ、決クフヲサクノ至タリナガラ。上六ノ陰ニシタシミチカブク。其咎大イナリ。然レモ。莫陸ノ如クニ。決クフヲサケバ。中道ニライテ咎ナシトスルナリ。蓋シ莫陸ハ、陰氣ヲ感ズルフカクノ。ホセモヒガタシ。然レモ。又モロクモキレヤ。象曰、中行无咎。中未光也。象トハ、夫子及ノ詞ヲ釋シ玉フ。傳曰、夫人心正意誠、乃能極中正之道而充實光輝。ソレ人ハ、心正ナル所ナク。意誠ノ惡念オコラサルニ至リテ後ニ、乃ヨク中正ノ道ヲキハメテ、其徳内ニ充チ實チ外ニ光リ輝ク。充實光輝ハ、孟子ノ文ナリ。五心有所比、以義之不可而決之。心一ハシタシム所ムニ、比キヲ以テモヨクコレヲサキスツ。雖行於外、不失其中正之義、可

以無咎。然於中道未得為光大也。決クフヲサクノ義ヲ行ヒテ。本、又ノ中正ノ義ヲ失ハズトイヘ。内、心ノ誠ヨリ出テサ

有所欲、則離道矣。道ト相ハナレ。夫子於此示人

之意深矣。象ノ詞ノ旨、人ヲノ中正ノ義ヲツクサ

方說而止。節之義也。コレモ節卦ノ象ニ。說以行險、當位以節

兌ハヨロコブ。坎ハサガシキ義ナリ。凡ソ人悦フ時ハ、スキテナガシヤス。險難ニアフ時ハ、トッマリテス、マズ。此卦兌坎ナレバ、悦ブ時ニアタリテ、三ツカラヨク節制ヲ止ルヲ知ル。ヨリテ節ノ義アリ。本卦ノ九五、尊位ニ居テ、止節ヲ主トル故ニ。本文ニ當位以節スト云ナリ。

節之九二、不正之節也。節卦九二、剛陽ニ中位ニアレモ、陰位ナシ。居ル所正シカラス。又下ノ卦ノ兌、澤ノ性、比ニ居

テ剛ノ徳ヲ失る又上六ノ陰柔ニウケレタガヒテ邪ナルニチカヅクヨリ  
 テ節制スル所アレド其義正大ナラズノ貴ブニ足ラズコノ故ニ不正ノ節ト  
 云ナリ。以剛中正為節。如懲忿窒欲。損過抑有  
 餘是也。モ剛陽中正ノ徳ヲ以テ節制スルハ忿ヲコロシ欲ヲフサ  
 り。過タルヲヘラシ。餘アルヲオサフルノ類ノ如キナリ。  
 不正之節。如嗇節於用。懦節於行是也。嗇ハ  
 ム懦ハヨハキナリ。不正ノ節ハ吝嗇ナル者ツイエヲハハカリテツカフベキ  
 事ニ則用ヲ節シ。柔懦ナル者難ヲオソレテナスベキワザニ行義ヲ節スル  
 ノ類ノ如キ  
 コレナリ。

人而無克伐怨欲惟仁者能之。此章ハ論語ニ原憲  
 以為仁矣ト問ヒケルニ。夫子可以為難矣。仁則吾不知也ト答ヘ玉ヘル義ヲ釋  
 ス。克トハ人ニ克ツヲコノム。伐トハ自才ニ伐ル。怨ハイカリウラム。欲ハム

サボリ子ガフナリ。此四ツノ情ヲノブカラナキトハ只仁者ノミコレヲヨク  
 ノソノ他ノ人ハアタハズ。蓋シ仁者ハ其心天理純粹ニノ一毫ノ人欲ニハ  
 ラザルガ故ナリ。有之而能制其情不行焉。斯亦難能  
 也。謂之仁則未可也。四ツノ情アレドヨク制止ノ外ニ行ハ  
 レドイニダ仁トハ此原憲之問。夫子答以知其為  
 イハレザルナリ。此原憲之問。夫子答以知其為  
 難而不知其為仁。此聖人開示之深也。只四

ツノ情ヲ制スルヲ以テ仁ヲ求ル時ハソノ工夫親切ナラズモ至リカタキヲ  
 以テ只ヨクレガタキトハ仁トハユルサレズコレソノ原憲ニ開キ示サルハ  
 一ノ深キ處ナリ。○朱子ノ云ク。已ニ克ツヲ仁トストハ。根源上ヨリ便斬リ截  
 チ了リテ更ニマタキガハス。行ハレザルトハ。其末ヲ禁制ノ外ニ行ハレ  
 ザルノミ。其本ハ則心ニ着キテ  
 イマダ去クアタハザルナリ。

○

明道先生曰義理與客氣常相勝

義理ノ心ハ性命ニ本ヅキテ

ワカ固ツアル所ナリ。心欲ハミナ形氣ノ私ヨリ生メ本ナシ。往來ノ客ノ如クナルニヨリテ客氣ト名ヅクサレモ此ニツノ者常ニ勝負ヲ相ナス。義理至トナリテ客氣ニカツ時ハ客氣服メホシイマナラス。客氣サカンニメ義理ニカツ時ハ義理シヅマリテトヒス。

分數多少為君子小人之別

義理カツ故ニ長ゾ分數多ク客氣マクル故ニ消

ハ分數少キハ君子ノ類コレニ反スル者ハ小人ノ類ナリコレヲ以テ君子小人別トス。

義理所得漸多則

自然知得客氣消散得漸少消盡者是大

賢

義理カキテ得ル所ノ分數ヤウヤクニ多キヲオホユル時ハ則ラノツクラニ至レル時ハコレ君子ノ徳成リテ大賢ナリ。

○

或謂人莫不知和柔寬緩然臨事則反至

於暴厲

人ツ子ニ和ギ柔カニテ寛ニ緩ヤカナルヲヨキト知ラザルハナシ。サレテ事ニノゾム時ハ反テ怒リ恨リナル意發メ言動

暴ク厲クナルハイカナル故ゾト。

曰只是志不勝氣氣反動其心

也

只コレ義理ノ志血氣ニカツアタハザルナリ志ハモト氣ヲヒキ井ル者ナレトコレ反テ氣サカンニメ其心ヲ動カシタバヨハスナリ。

人不能祛思慮只是吝

人思慮スマシキ思慮ヲ祛ルアタハス營々トメ解中ニ往來スル

ハ只コレ其心吝ナルガ故ナリ吝トハ私意小智ヲ用ヒテハツベキ所アルヲ云。蓋シ私欲ヲタチスツルヲオシメ便利ヲ失ハニヲオソルニヨリテ義ニオモムクテ決断セズタチカハリノクテ思ヒハカルナリ。

吝故無浩然之氣

吝ナル故ニ浩然タル平

治怒為難治懼亦難克己可以治怒明理

可以治懼 人ヨク己ニ克ツ時ハ人我ノ間公ナル故ニ其怒リ物ノ上ニアリテ心ニダリニ動カス道理ノアルマシキ事義理ノ

免ルマシキ所ヲ分明ニ見サダムル時ハ其志ノビタツ故ニソレハバカル意ヲノツカラレリゾク

堯夫解他山之石可以攻玉 堯夫ハ邵康節先生名ハ雍字ハ堯夫ナリコレ小

潤之物若將兩塊玉來相磨必磨不成 王者温

フタカタマリト云義ナリ玉ノ質温シク潤シキ物ナリヨリテモシニツノ玉ヲモテ来ム相ミガケバスベリアヒテミガキナサレヌゾ

是得他箇麪底物方磨得出 須

ハアラノシキ物ト云義ナリ即礪石ヲサシテ云ナリ

譬如君子與小人處為

小人侵陵則修省畏避動心忍性增益預

防如此便道理出來 與小人處トハ共ニ仕ヘテ居ルヲ云

ナルヲ以テ侵シ陵カル時ハワガ身ヲ修メ省ミ畏レツ、シテカノ侵シ入ル所ヲヨギ避ケ道義ノ心ヲワビヘウゴカシ氣質ノ性ニタヘレノゾヨリ

テイマダ能クセザルヲ増シ能シイマダ見エザル患ヲ預メ防グカクノ

如クニスルヲ以テ心ニ道理出來テ其徳日々ニス、ミ理ヲ見ルヲイヨク、明ナリ此段君子ヲモニタトヘ小人ヲ石ニタトフ詩ノ釋ニテハタトヘナレト

程子ハ此タトヘヲトリテ人ニ克治ノ方ヲ示セリ動心忍性增益ハミナ孟子ノ語ヲトル

目畏尖物此事不得放過 ハラ

ノヲシテセシバハラ或人ノ病ヲ云尖物ハトガリタル物ナリ放過トハハ

アチヤリテ。スギ去。便與克下。程子スナハチ此人ノタメニ。教ラマウ  
ルゾ。忘ル、フヲ云。ケテ。其患ヲ克テ下レリ。ハニラシム。

室中率置尖物。須以理勝他。尖必不刺人。

也。何畏之有。コレフノ教ラル、ノ事ナリ。其人ノ居ル室ノ内ニ。ス  
勝ノ術ヲ用ヒタルフ。則コレヲ見ナル、ニヨリテ。其心ニ尖物イカホドアリ  
テモ。人ヲサス者ニアラス。ナンノ畏ル、フアラントサトル。コレツノ理ヲ以  
テカタシムル所ナリ。又或人疑ヒフカキ病アリ。見ルゴトニ。ミナ獅子ノ如ク  
ニ見エテ。コレヲ懼ル。伊川カレニ教ヘテ。フノ獅子ト見ユル時ニ。ハシリカ、  
リテ。コレヲトラヘシム。トラントスルニ物ナレカクノ如ニスル。久クメ後ニ。  
其病ツイニイエタリ。コレヲ云フ。ミナ人ニ克治ノカラハゲムベキ。フヲ示ス。  
蓋シ人私欲ニヒカル、ニヨリテ。スベキ。フヲハ。ナヤミテエセサル者。  
自フリタチ。コレキリテスル時ハ。後ニ習熟ノ。シカタキ。フナキ者ナリ。

明道先生曰。責上責下。而中自恕己。豈可

任職分。ルソ入ワレヨリ上ニアル人トキニアル人ノ。怠惰過失。フセメ  
テ。自ユルレヲク。コレ世ノ中ノ通病ナリ。ソレ人ハ各天ヨリウケテ。必ツトム  
ベキ職分アリ。モシ人ノツトメザル。フノミヲセムル者ハ。ワガ職分ヲ任荷ト  
メ。ヨクツトムル。フヲ知ラシ  
ヤ。必ツトメラル。マシキトゾ。

舍己從人。最爲難事。舍己從人トハ。虞書ニ堯ノ徳ヲ稱ズル  
ノ詞ナリ。ワガヲモハクノヨキ所。十分  
ナリトイヘ。人ノヨキ所。モシ一分モマサレル時ニ。則チ已ラス。人ニ從フ。  
コレ其心至公ニ。一毫ノ私ナキ故ニ。ヨクカクノ如シ。ヨリテ最難キ事トス  
ルナ  
己者我之所有。雖痛舍之。猶懼守己者  
カタク  
固而從人者。輕也。我之所有トハ。ワガ思分。是トメ。自満スル  
所ナリ。モシ人ノマサリタルヲ見ル時ニ。ツ  
ヨク其有トスル所ヲ。タチスツトイフ。所ナヲオシ。ミ守ル心。ナツミ  
カタマリテ。人ニ從フ意。カクユルカラ。シテ。懼ルベシトナリ。

近思錄句解卷五

九德最好

コレ眞書ニ。卓陶人ノ德行ニ。九ツノ目ヲアゲラレシ。一ツヲ  
タカニヒロシ。粟ハオゴツカニメタユマヌ義ナリ。寛私ナレド。亦ヨク  
ノ寛ニ偏ナラズ。下ノ八德ニモ。各此意アリ。ニツニハ柔而立。柔ニテ  
ヨク立チ定マリテ。ウゴカズ。三ツニハ愿而恭。愿ニメツ。シミフカケ  
忝シクメ礼ニ中ル。四ツニハ亂而敬。亂ハオサムル義ナリ。事ヲ治ル  
亦ヨク敬畏メ。ホシイマ、ナラズ。五ツニハ擾而毅。擾ハシタガヒナ  
リ。剛擾ニメ。人ナツカレキ德アレド。亦ヨク果毅ニメ。タチキル所  
ハ直而温。直クノ委曲ナラザレド。亦ヨク温カニメ。スルドナラズ。七  
而廉易簡ニメ。事スクナ、レド。亦ヨク廉タチテ混セス。八ツニハ剛  
ニメ。又クヤカナレド。亦ヨク充チ塞リテ。オロソカナラズ。九ツニハ  
勇ニメ。ツヨクイサメド。亦ヨク其スル所事ノ宜キニカナラフ。義ハ即  
飢食渴飲。冬裘夏葛。若致此私吝心在便  
是廢天職。表ハカハギ又。九フ綿イレタル服ハ。ミナ表ノ類ナリ。葛ハ  
クス布スベテ。夏ノコロモヲ云。ソレ人ノ飲食奉養ノソナ

ハ。ミナコレ天職ニツキタル俸禄ニメ。各天ヨリ賦與セララル。所ナリ。飢工渴  
キテ飲食シ。寒暑ニソナフル衣服ナドハ。日用ニカ、レザル者ナリトイヘド。  
モシ其間ニ。スコシキ貧リ各ム私意アレバ。即コレ天職ヲアナル。ナ  
ヨリテ。コレヲ廢スト云。況ヤ天禄イヨク厚ケレバ。天職イヨク重シモシ  
天禄ヲウケテ。其職ニツコタ  
ル人ハ。天誅ハカリガタシ

獵自謂今無此好。周茂叔曰。何言之易也。  
但此心潛隱未發。一日前動。復如前矣。後

十二年因見果知未也。明道年十六七時

好田獵。十二年暮歸在田野間見田獵者

不覺有喜心

此章ハ本注ニノセタル。ヲ。程子自カタル。ソノカツテ  
濂溪先生ニツキ學ベル時ニ。獵ノ。サキニハ好ミツ





モ改メザル者アルナレコノ故ニモレソノイマダ知ラザル過ヲ人告ル  
アレハ聞テ則コレヲ改ルヲ喜ブ世ノ過ヲカクモ非ツカザリテ人ノタ  
スヲ忌ム者正クウラチガヒナリコノ故ニソノ遺風ヲキク者百世ノ後  
ニテモミナ志ヲフリタテハ非ヲ改ルニイサムヨリテ百世ノ師ト云ナリ

人語言緊急莫是氣不定否カハシキ義ナリコレ其

人ノ血氣レヅマラザル故ニテハナキカ否ヤト問フ曰此亦當習習到言語自

然緩時便是氣質變也言語ノツカラ緩キニ至ル時ハ即コ學至氣質變方是有

功功ハレル云凡ソ人ノ學ヲスルツノ氣質ヲ變化スルヲ以テ功驗トスモシ然ラザレバ學ヲツムコト多ク年ヲフルコト久シケレモ何ノ用ヲ

モナサズ

問不遷怒不貳過何也コレ論語ニ夫子顔子ヲ稱美シ玉

タリ不貳過ノ語録有怒甲不遷乙之說ハ即是ハ即否ハ即

程子ノ語ヲソノカミ門人ノアツメ録セル書ナリ甲乙トハ物ノ次第ヲ云不遷

怒ト云ヲハジメニアフ人ノタメニ怒レル意ヲ後ニアフ人ニウツサルナリト云説アリ此伊川先生曰是此説是曰若此則

甚易何待顔子而後能顔子ノ賢ヲマタズ曰只被

說得粗了諸君便道易此莫是最難須是

理會得因何不遷怒此事アラク説キ了ラルニヨリテカ如舜之誅四

最カタキ一ニテナカルベキカソレ何ニヨリテヨク怒ヲ人ニウツサスト云一ヲ自會得スベレトナリ

凶怒在四凶舜何與焉

四凶ヲ誅スルノ事前ニ見エタリ。怒ルベキヲ四凶ガ身ニアルニヨ

リテ舜シタガヒテコレヲ誅ス舜ノ心ニ怒ナクモモトヨリコレト相アカラヌナリ。蓋因是人有可怒

之事而怒之聖人之心本無怒也

此段又上文ノ意ヲ詳ニス蓋

シ人ニ怒ルベキヲアレバ我コレニ應ズ怒ノ情發ス其事ヲ處置シラハレバ其怒則ヤム聖人ノ心ニマヅ怒アリテコレニ應ズルニアラスヨリテ亦事ス

ギテノ後ニトバマレル怒モナシコノ故ニ本怒ナシト云ナリ。譬如明鏡好物來時便

見是好惡物來時便見是惡鏡何嘗有好

惡也

コレ亦タトヘヲアゲテ上文ノ意ヲ明ス好物トハウツクシキ物ヲトリテ云コレ鏡ノ面ニ本好惡ノ色ナキ

ヲ以テ聖人ノ心ニ本怒ナキヲタトフ。世之人固有怒於

室而色於市

コレ左傳ノ語ヲトリテ云世ノ人固ニ其室ノ内ニテ怒ヲ人ニウツス者アリ。

且如怒一人對那人說話能無怒

色否

那人トハ他人ヲ云モレ一人ヲ怒ルニアタリテ又餘ノ人トモノガタリスル時ニヨクサキノ怒ノ色ヲサマラスコトヲ得ンヤ否ヤト

有能怒一人而不怒別人者能忍得如此

已是慈知義理

今ヨク一人ヲ怒リテ別人ニウツサル者アラハルニハアラザレドヨクタヘニ

若聖人因物

而未嘗有怒此莫是甚難

因物トハ物ノ怒ルベキヲ見テ怒リ其物ヲ治レバ即止ム

君子役物小人

又他ノ物ニモヲソツカラウツラサルヲ云末ノ句ハ前ノ此莫是最難ト云ニ應ズ

○  
役於物役物トハ心ヲ以テ物ヲ 今見可喜可怒之事コレ小人ノ物ニ役

自家着一分陪奉他此亦勞矣コレ小人ノ物ニ役

奉トハ人ノトモソユクヲ云今喜ブベク怒ルベキ事ヲ見ルタビゴトニワ  
レ一分ノ喜怒ノ心ヲ着ケテカノ事ニ從ヒユカバコレ亦ムツカシキナリ  
トカクノ如クナレバ心主トナラズ物反テ至ナナル  
故ニソノ喜怒哀樂ノ情他ノ物ニモウツリワタルナリ 聖人之心

如止水 止水ハタマリミツナリ上ノ  
明鏡ノ譬ノ意ト同

人之視最先非禮而視則所謂開目便錯

了コレ視聽言動ノ次第ニ末己ノ工夫緩急アルヲ論ス凡ソ人ノ目ノ視  
ル所其心ト相アツカル最シタシ目ノ視ル所ハ心則コレニ從フ心ノ  
ムカフ所ハ目必コレニツク最先ニアリトス視ルノ非礼ヲ急ニ克ツベキ  
開目便錯トハ俗語ナリ人ノアヤマリマヅ目ノ見ル所ニアラハルノ

○  
次聽次言次動有先後之序工夫ニ少シ緩急ア  
レ其非礼ヲ禁止

人能克己則心廣體胖仰不愧俯不

作其樂可知心廣體胖ナルハ大學ノ文仰不愧于天俯不  
作于人ト

有息則餒矣克己ノ工夫モシバラクモヤム  
時ハ私欲又キガスニヨリテ心養

聖人責己感也處多責人應也處少コレ論語  
ニ躬自厚

而薄責於人トイヒ中庸ニ失諸正鵠反求諸身ト云ノ類ヲ以テイヘリ凡ソ天  
下ノ理必感スル所アリ然ノ後ニ應スル所アルコノ故ニ聖人ノ道ツ子ニ

己ガ感ノイマタクサバルヲ責ル處多クメ人ノ應ノ足ラザルヲ責ル處少シ。コレ本末ノ先後自然ノ道理ナリ。只長厚ニメオトナシヤカナル行ヲトルノミニアラズ。

謝子與伊川別一年往見之謝子ハ謝頭道ナリ。伊川曰

相別一年做得甚工夫工夫ノ效ヲトフ。謝曰也只去

箇矜字一年ノ間ニ亦只一ツノ己ニ矜ル意ヲ克チ去キ得タルトナリ。曰何故矜ノ字ヲウレフル故ヲトフ。

曰子細檢點得來病痛盡在這裏檢點ハ点檢ト同。物ヲ一ツ

若按伏得這箇罪過方有向進處矜ノ字ノ罪過

伊川點頭ウナツケルゾ。謝子ノ答ヘラ

因語在坐同志者曰此人為學切問切問ハ帶テ云ナリ。蓋シ矜ノ字

近患者也同志者ハ朋友門人ヲサス。切問近思ノ義前ニ見エタリ。コ

思叔諾言僕夫諾言トハノリイカリテ。惡ハスルヲ云。僕夫ハ

伊川曰何不動心忍性忍性ハ本心怒氣

叔慙謝自ソノ過失ヲ慙テ。教戒ノ謝ヲ致

思本心怒氣

近思錄句解卷五

二十

見賢使思齊見賢使思齊自有為者亦若是上ノ句論語下ノ句孟子トリアセテ

見不見不見不見不見不見不

賢而内自省賢而内自省蓋莫不在己上ノ句論語ノ次ノ句ナリ

此アレキアアラント内ニムカヒテ自省察シコレアル時ハ則克チ去クベシ

論ぜスモ皆コレヲ論ぜスモ皆コレヲ

横渠先生曰湛一氣之本攻取氣之欲口

腹於飲食鼻口於臭味皆攻取之性也湛ハ

カナル見攻取トハイトナシ求メテヒキトル義ナリ臭ハ香ナリノレ人ハ性

知徳者屬

厭而已不以嗜欲累其心不以小害大末

喪本焉爾屬厭ハアキタル義ナリワガ徳性ノ辱キヲ知ル者ハ飲

織惡必除善斯成性矣織キ惡ヲモ必除キ去ツレバ天命

察惡未盡雖善必粗矣惡ヲ省察スレバイマダコレヲ克

惡不仁故不善未嘗不知惡不仁好仁ハ論語ノ文ナリ

近思錄句解卷五

性ノ一ニ全クスルヲアタハス

不仁ナルヲキラヒニクム

者ハワガ身ニ不善アルヲ深ク羞テ省察スルヲ精キ  
故ニカリニモアレキヲアレバ自知ラズト云フナリ  
徒好仁而

不惡不仁則習不察行不著  
下ニ句ハ孟子ニ出タリ仁ヲ好ム  
最上ノヲナシモ

ニ仁ヲ好ムノミニテ不仁ヲ惡ム所ナケレハ省察辨決タラサル故ニ學ヲ身  
ニ習ハストイヘ凡ツイニ其理ヲ察識スルヲアタハス事ヲ踐ミ行フトイヘ

是故徒善未必盡義徒是未  
ニツイニ其義ヲ著明  
ニスルヲアタハス

必盡仁好仁而惡不仁然後盡仁義之道  
仁ヲ好ムハ仁ナリ不仁ヲ惡ムハ義ナリ徒善トハ徒ニ善ヲ善ニスルゾ即仁

ヲ好ムバカリナルヲ云徒是トハ徒ニ是ヲ是トスルゾ即不仁ヲ惡ムバカ  
リナルヲ云コレト又ラウケテ云クコノ故ニ徒ニ仁ヲ好ニテ不仁ヲ惡ム

テレバ己ヲ察スルヲイマタ精カラスノ裁斷ノ宜キ所ヲツクスヲアタハス  
宜ハ即義ナリ然レモ亦徒ニ不仁ヲ惡ミテ仁ヲ好マザル時ハ其スル所或ハ

セハノレクメ恩愛ノ情ヲツクスヲアタハス即イマタ仁ヲツクスサバルナ  
リ必ニツノ者相濟テカタオチナラ

ス然ノ後ニ仁義ノ道ヲツクスナリ  
人己ヲ責

責己者當知無天下國家皆非之理  
ノ理ヲ盡サント思フ者ハマサニ天下國家ノ事心ニマカセザル所アルハカ  
レガミナ非ナルノ道理ナレ必ワガコレニ處置スル所ニイマタ其道ヲツク

サバル所アリト  
知ルベキナリ  
故學至於不尤人學之至也  
人ヨ

ニ在ル者イマダ盡サハルヲ知ル時ハ自身ヲオサムルニダモイトマアラ  
ス何ゾ人ノ非ヲトガムルニ及ブアランコノ故ニ其學人ヲトガメザルノ

地位ニ至ル時ハ則コレ學  
業スニ至レルノ時ナリ

有潛心於道忽忽為他慮引去者此氣也  
潜心於道トハ道ヲ求ル心フカキラ云忽々ハイソガハニキ義ナリ道ヲ求  
ル志他ノ思慮ニヒキ去ラルハコレ其志氣ニ勝レテカクノ如クナル

近思錄向解卷五  
三十二

舊習纏繞未能脱洒畢竟無益但樂於舊

習耳其志氣二勝タルレバ舊ヨリノ習ハレバワガ身ヲ纏ヒテ其中心ヨ

益モナシ只コレ舊習ヲ其ン古人欲得朋友與琴瑟簡

編常使心在於此コノ故ニ古人ハ朋友ニ交リテ講習貞善ノ

以テ中和ノ徳ヲ養ヒ書ノ簡編ヲ玩益ヲトリ琴瑟カタハラヲハナレズ絃歌ヲ

ラ得テ以テ常ニ心ヲ其間ニヲキテ俗習ニ遠リ徳性ヲ養ハマク欲ス惟

聖人知朋友之取益為多故樂得朋友之

來上ノ段ニ云三ツノ者ノ中ニ朋友ノ益ヲ取ル一尤多シ只聖人ノ

矯輕警惰九ツ學者ノ大イナル痼痛ハ輕キト惰ルトノ二ツニアリ

リコレ二種ノ病目ナリトイヘ凡モ其一二ツアレバ必ニツナガラ相因リテ

アリコノ故ニ學者ハ只時トナク事トナクソノ輕キ處ヲタビシオサメ惰レ

ル處ヲサトシイマシメズト云フナカルベシ而ソノ矯スト警ストノ工夫

ハ又只敬ノ一字ヲ以テコレヲカヌベシ按ズルニ人心ノ病モ陰陽ノ兩端ニ

ハズレス陽ニヤブラルレバ輕クヌ浮ビ躁ガシ陰ニヤブラルレバ惰リテ

クラムコノ故ニ敬ヲ持スルニモ亦只ツ子ニ收斂提醒ノ四字ヲ志レザレバ

其及ブ所全シ收斂ノオサメイルハ輕キヲタニス方

ナリ提醒ノヒキタテサマスハ惰レルヲサトス方ナリ

仁之難成久矣久失其所好仁ノ徳修メモ成就レガ

ニヨリテ久シト云フレ仁ハ人心天然ノ徳ナリトイヘ凡今々氣質ノ偏ニヨ

リテ各フノ好ム所ノ私欲アリテ心コレニワヅラハサルヲ以テ其徳ヲ失

フナ蓋人人有利欲之心與學正相背馳故

學者要寡欲仁ハ天理ノ公ナリ欲ハ人心ノ私ナリコノ故ニ今々

行思錄の解卷之三

二二三



相背キテカナタコナタハ馳セ去ル然レバ學ンデ仁ヲ求ル者ハ飢テ食ヲ欲  
ヒ凍テ衣ヲ欲フオドノ身ニ切ナル欲ヲモミナ寡クノ其節ニ止ルベシ況ヤ  
道ニアラサル私欲ハ根  
ヲツクノ克チ去クベキ

○君子不必避他人之言以為太柔太弱至

於瞻視亦有節此章人ノ氣ノ輕ク傲レル害ヲ戒ム此段云意ハ  
君子モトヨリ温シク柔ニテ恭シク謹ムヲ尚

温恭ナルニホドヨキ節アリトブ然レ庄亦必シモ世ノ人ワレヲ以テ傲レリトセニ一ヲ恐レテ其詳ヲ避  
タメニ枉テ太柔弱ナル体ヲスルニアラス目ヅカヒノ間ニ至ルニテモソノ

義ハ下ニ詳ナリ瞻視ハ皆三ナリ義ハ下ニ詳ナリ瞻視ハ皆三ナリ視有上下視高則氣高

視下則心柔故視國君者不離紳帶之中此即瞻視ノ節ナリ九ノ物ヲ視ルニ上リ下リアリ視ルニタカブレルハコ  
レ氣ノタカブレル驗ナリ視ルニ下レハコレ氣ノ柔ナル驗ナリコノ故ニ

國ニ君タル人ヲ視ルニハ其帶ノ間ヲハナレズコレヨリ上ル時ハ則ラザル

コレヨリ下ル時ハ則ラウレハシ其法曲礼ニ詳ナリ紳ハ大帶ノ前ニムスビテ

學者先須去其客氣其為人剛行終

不肯進堂堂乎張也難與並為仁矣客氣ノ説  
前二見エ

タリコレハ傲レル氣ヲサシテ云フノ當然ニスギテ根ヲハナシ

以テ客氣ト云ナリ剛行ハ氣象ノアラキヲ云張ハ子張ナリ堂々ハ容貌ノサ

カンニメタカブレルヲ云學者マツソノ傲慢ノ淨氣ヲ去クベシイカント

ナレバソノ人トナリ鹿暴ナル者ハトリオサメテ信實ナルヲアタハサルヲ

以テツイニ道ニスムヲバ心底ニ肯ハスコノ故ニ曾子子張ヲ堂々トメ

外ヲツトメテ内ニムカフノ實功ナシ相共ニ仁ヲスベキ益友ニトリガタシ

トソレレリ説蓋目者人之所常用且心常託之

論語ニ見エタリ視之上下且試之已之敬傲必見於視所

以欲下其視者欲柔其心也柔其心則聽

言敬且信此段申テ上ニ段ノ意ヲ明ス心常託之トハ心ハツ子ニ目

ノ上リ下リヲ以テ試レバワガ心ノ敬ムト傲ルト必コニアラハレテ見

リ心溫柔ナル時ハ人ノ善言ヲキクツツコ

ニメイトマアルヲ云輔佐ハ皆タスクルナリ人ノ朋友アルヲ五倫ノ一ツ

仁ラスルヲ相タ

今之朋友擇其善柔以相與拍

肩執袂以為氣合一言不合怒氣相加

タクニニヤハラカナリコビヘツラフヲ云溫柔ノ義ニアラス今ノ世ノ友

トルニハ只カヤウノ者ヲエラビテコレト相クミシマヅハルヨリテ其初

心ヤスクナレアヒテ意氣相カナハリト思フサレ心ノコトナラザルヲ

以テ一言アハザルヲアレバ則互ニ怒ノ氣ヲ相カクルナリコレ君子ノ交リ

ニア朋友之際欲其相下不倦相下ルトハ互ニ卑下ム

故於朋友之間主其敬

者日相親與得效最速親與ストハ即相下ルヲ云相

ナリ蓋し敬ヲ主トノ交ル時ハ則心ノ信實ヲ失ハスメ日ニソヒ相シタシム

仲尼嘗曰吾見其居於位也與先生

並行也非求益者欲速成者則學者先須

# 温柔温柔則可以進學

子ノ語ハ論語ニ出タリ。コレ闕堂ノ童子夫子ノ宅ニ居テ客ノ奉養ヲシケルヲ見テ客此童子ノ學業ニ進益アル者カト問ケル時ニ夫子ノ答至ヘル詞ナリ。先生トハ長者ヲサス。凡ソ童子ノ礼居ル時ハ席ノ隅ニ居リ。行ク時ハ長者ノアトニソク。然ルニ此童子。席ノ正位ニ居リ。長者トナラビユク。夫子コレヲ見玉フ故ニ玉ハク。コレ進益ヲ求ル者ニアラス。只速ニ成人セマク欲スル者ナリ。コノ故ニワレ賓客ニ應對セサセテ長幼ノ節ニナラハシメマク欲ス。寵愛ノコレヲセシムルニアラスト。然レバ初學ノ者ハ。マツ温柔ナラニテ求ムベシ。温柔ナル時ハ則以テ學ニス。マルベシト。コレ剛行ナレバツイニ肯テ進マズト云ノウラナリ。詩曰温温恭人。惟德之基。蓋其所

**益之多**。コレ大雅ノ詩ヲ引キ。コレヲ釋ス。上文ノ意ヲムスブ。温々トノヲタツル土臺ヲ云。蓋シ益ヲ得ル所多キヲ以テ德ヲツムノ基ト云ナリ。

**世學不講男女從幼便驕惰壞了。到長益**

**凶狠**。今ノ世小學ノ教スタレテ。人コレヲ講明セス。ヨリテ男子モ女子モ。父母ノ慈愛ニ乘リテ。幼少ノ時ヨリ。而驕リテ。慕シカラス。惰リテ敬

マズ。ソノ性實ハ必シモアレキニアラサレバ。驕惰ノナラハシニテソコナヒヤフリラハリ。成長スルニ至リテ。ミスル凶惡狠戾ナリ。凶ハアレシ。狠ハイ

ブリ。只爲未嘗爲子弟之事。則於其親已有

**物我不肯屈下**。物我トハ人ト我トノヘダテラ云。イマダカツテ

ルガタメニ親ク尊キ父母ニダモステニカレトワレトノヘダテアリテ。他人ニ對スル時。己ヲ屈メテ人ニ下ルヲ。心底ニ肯ハサルカ知シ。病

**根常在又隨所居而長至死只依舊**。驕惰ノ病カズノ常ニ身ニアリ。又ソノ居ル所ノ處ニシタガヒテ。イヨク爲子弟

則不能安洒掃應對在朋友則不能下朋

友有官長則不能下官長為宰相不能下

天下之賢甚則至於徇私意義理都喪也

只為病根不去隨所居所接而長

トク洒掃トハ水ヲ洒ギテ塵ヲ掃フナリ。應對トハ人ノヨブニ應ヘ問ニ對ルナリ。皆子房トノ尊長ニツカフル禮儀ナリ。コレニ安ニスルヲアタハストハ。心ニ背ハガル義ナリ。下ルハ。即屈下ナリ。官長トハ。己ヨリ上ツカタノ官人ナリ。宰相トハ。政務ヲ案判メ天子ヲ相クル官職ナリ。己ガ權勢ニホコリテ天下ノ賢オニ屈下セザレバ。善言嘉謀ヲキカス。共ニ天下ヲ治ムベキ人ナリ。宰相ノ職ニカナハザルナリ。徇フトハ身ヲ以テ物ニウチマカスル義ナリ。驕情ノ心。イヨク、甚キニ至ル時ハ全ク人欲ノ私意ニシタガヒ。天姓ノ義埋コトトクホロビテ。邪妄思慮。至ラスト云所ナシ。カクノ如クナルモ。ニタハ

幼少ヨリノ病根去カズ。居ル所ノ處接ル人須一事事消了

病則義理常勝

ハ私欲日々ニ退キテ。義理常ニ勝ツベキナリ。

一行アキツ



